

大阪内モンゴル協会 会報  
**～虹の架け橋～**  
 中国・内モンゴルとの友好・交流

2009年10月1日発行  
 創刊号  
 発行：大阪内モンゴル協会  
 編集：努恩達古拉(ノンドグラ)  
 監修：内田凱博  
 mongol@fuhbic.com  
 www.fuhbic.com/mongol

大阪市淀川区西中島4-4-25, 408  
 ジャパンフービック株式会社内

内モンゴルからの報告  
**第11回アジア芸術祭**

内モンゴル・オルドス市で開催

第11回アジア芸術祭中国の内モンゴル自治区のオルドス市で開催されました。アジア芸術祭は中国文化省の主催により、年に1回、開催される地域的な国際芸術祭。今年アジア芸術祭は8月18日から9日間にわたり内蒙古自治区のオルドスで開催されました。開催期間中、アジア各国から集

大阪内モンゴル協会は、1984年吹田フフホト会として発足、2008年に大阪内モンゴル協会に改称しました。元々は中国領事と当協会の代表である、元大阪府議会議員倉嶋勲との交流から、フフホト市を訪問したのがきっかけで、友好団体として活動をしてきました。吹田南小学校と蒙古族学校との友好姉妹校、大阪御堂筋



モンゴル族の伝統的衣装展示



蒙古族の特色に富んだ踊り「オルドスの結婚式」

大会などが行われました。アジア地域の文化協力の強化をはかるアジア文化相円卓会議に中国、アフガニスタン、バングラデシュ、日本、パキスタンなどアジア16カ国の文化相と代表が参加して、現在の金融危機の下で、アジア各国の文化発展が直面している課題、チャンス、及び対応措置など関連議題を討議すると共に、各国の文化相の発言を整理した「オルドス提議」に調印しました。第11回アジア芸術祭の一環として、オルドスナダム祭が8月19日、内モンゴル自治区のチンギス・ハーン陵観光エリアで開催された。

パレードの参加、フフホト市政府招待の交流会、内モンゴル自治区60周年記念行事参加、吹田市アジアンフ

今後は孤独になりがちの内モンゴル出身の留学生、社会人と会に賛同頂いた日本の方々との交流を積極的に

大阪内モンゴル協会

会報発行に際して

エアアの参加等の活動を通じて、内モンゴルとの交流を深めています。又砂漠化しつつある大草原を守るべく、中

この協会報は大学・関係団体・会員に配布し、定期的に発行を予定していますので、皆様の寄稿やご意見を頂ければとお願いしています。■大阪内モンゴル協会 内田

行って行きたいと思っ

モンゴル民族料理と馬頭琴演奏

**モンゴルゲル**

大阪市城東区鳴野東2丁目23-11 (JR片町線鳴野駅徒歩1分)

TEL: 06-7503-7352



# 恩格貝―緑で結ばれたアジアの

## 人々交流と理解の懸け橋

### (大草原の緑地化)



人口増加が進む中国内陸部。その奥深くに位置する内モンゴル自治区には、ゴビ砂漠、オールドス砂漠など広大な砂漠が広がっている。ここはかつて、森と草原の豊かな大地であった。それが約300年前から砂漠化が進み、ひいては貧困を生み、貧困ゆえの無謀な農法がまた砂漠化を進行させる、と悪循環を生んでいる。中国内モンゴル自治区の広大な沙漠を緑化しようと、遠大な理想を掲げ行動を起こした日本人、故・遠山正瑛農学博士（山梨

県富士吉田市出身、鳥取大学名誉教授、当時83歳）のお陰で植林活動が始まり、多く熱心な植林ボランティア達の協力で活動が益々広がり、今日の砂漠の中の緑地帯―恩格貝を誕生させました。恩格貝とは、モンゴル語で、平安、吉祥と言う意味です。内モンゴル自治区・オールドス地方のクブチ砂漠の真ん中に位置しています。1997年恩格貝を中国環境保護局より国家生態建設模範地区と認定され、日本をはじめ、国際協力機関の援助を得て、砂漠を緑化した。

現在、恩格貝に緑を再生したことがその地域に大きな利益をもたらして、単なる植林活動だけではなく、アジア芸術祭など文化交流イベントも行われて、アジアの国々と現地の

人々を融和させてくれる大切な懸け橋になっています。



自治区政府は、砂漠化を防止するために、大草原を保護し、生態環境を整え、観光地として活用しています。また、自治区政府は、砂漠化を防止するために、大草原を保護し、生態環境を整え、観光地として活用しています。

# 外国人311人が

## 中国永久居留権取得

### 北京で5年間に

北京新華社電によると、「外国人中国永久居留審査認可管理弁法（規則）」実施からこの5年間に北京では311人が中国永久居留資格を取得した。北京の警察当局が明らかにした。

ばならない。有名科学賞の受賞者や世界的に著名な学者、企業家、スポーツ選手、文化、芸術関係者であれば、世界的影響力や重要な価値のある研究成果を証明する資料を提出すれば、際立った貢献があったとして中国永久居留権が得られる。

北京市公安局出入国（域）管理処の許傑、副処長によると、2004年に國務院が同弁法を公布、実施した。この5年間に同管理処は35カ国の在京外国人から371件の申請を受理した。公安省の審査を経て、これまでに311人が中国永久居留資格を取得した。在京外国人が資格を取得する場合、一定の条件にかなっていることが必要で、関係の証明資料を提出しなければ、申請できない。

また中国公民または中国永久居留資格を取得した外国人の配偶者が永久居留資格を申請する場合、夫婦関係が丸5年続き、中国に連続して5年間居住し、毎年少なくとも9カ月以上居住し、安定した生活保障と住所があれば、申請できる。北京で永久居留資格を得た311人の外国人のうち、仕事の関係で取得した人が39

人、際立った貢献があった人が37人、親族と一緒に暮らすための切り替えが112人となっている。

永久居留資格を取得した外国人は出入国に際してビザの手続きが必要なく、居留証明書類の更新手続きも必要ない。「外国人永久居留証」は合法的居留の身分証明書としても使用できる。



自動窓拭き洗浄装置・自動制御システム・コンテナバック



ジャパンフービック株式会社

大阪内モンゴル協会を積極支援します。

―大阪市淀川区西中島4丁目4-25,408 TEL:06-6307-7704 FAX:06-6307-7709

# 中国の「酒席社交」

近年、中国の目覚ましい経済発展に伴い、世界各国との交流が盛んになっていきます。

中国を訪れた各国の人々の頭を悩ませている一つの習慣は中国の「酒席社交」です。次は各国の方々が中国の「酒席社交」について語った体験記録です。



日本の或る市の市長が姉妹都市である中国の地方都市を訪れた時に中国の酒文化に感心しながらも、頭を悩ませていたようです。市長は「中国はさすが、悠久な文明を持つ国。お酒を飲むのにこれだ

け多くの作法があるとは」と話す。最初の訪中に控え、市長は、あらかじめ中国の乾杯の辞を勉強しておいたが、中国に來ると、中国側の人は何も言わず大きな皿を市長の前に置いた。

お皿の上にはさまざまの銘酒が入った数十もの小さな盃が載っていた。中国側の人によると、これは「航空母艦」と呼ばれる。市長は厚意を辞退したが、努力して飲んだが、半分も飲まないうちにすっかり酔っ払ってしまった。2回目の訪中の際、市長は酒席で大ジョッキのビールを勧められた。

おもしろいことに、ジョッキの中には小さな盃があり、盃を取る液体のボールが現れた。それは白酒だった。中国側の人は、これを「潜水艇」と呼んでいる。市長は一気に

飲み干したが、すぐに酔っ払ってしまった。市長は、中国の酒の勧め方にどうしても慣れることができず、中国で酒席に赴くときはいつもどきどきすると話している。ある米国人は最近、「企業の社会責任」というサイトで、次のような書き込みをした。「青島での留学生活を通じて、次の三つのことがわかった。一、飲めないことを信じてくれる人がいないこと。二、青島ビールを飲まないことが、その都市の軽蔑を意味するわけでない」と信じてくれる青島人がいないこと。三、ビールがアルコール飲料と見なされていらないこと。外国人はみな中国に來てすぐに『乾杯』を学ぶが、中国で商売をするには酒が欠かせないということをやはり理解できない」。韓国『朝鮮日報』はこう評論する。中国の公務の酒席やプライベートの宴会において、酔わないといけないという習慣には、

酒が礼節、メンツ、人間関係と密接に関わっているためである。中国社会で「関係」は非常に大切であり、多くの人は何かの業務をする際にまず「関係」を念頭に入れ、人に頼みごとをする時に酒は絶対欠かせない。英『TABLET』誌は、「関係を築き上げるためのコツ」という文章を掲載し、10のコツを挙げたが、そのうちの3つが酒と関係している。その3つのコツはそれぞれ、「乾杯」を中国語で言うこと、酒席で相互理解や共通認識に達するため努力すること、白酒を飲むときに中国人に「豪快さ」を買われることである。米『ボストングローブ』紙は、多国籍企業の管理者にとつて、中国で成功を収めるには「関係」は欠かせないものであるとしている。しかし、一部の西側の人は「中国の関係イコール腐敗、酒席は闇取引の場」という見方を示しており、

同紙は「『関係』は取引成立後に思うままに行動できるという意味ではない。ビジネスパートナーたちは、西側の基準よりもっと深くで密接な交流をする必要があるというだけである」と指摘する。厦門大学人文学院の周寧院長は、「世界には民族特有の社交方式がそれぞれある。西側が『カフェ社交』であるのに対し、中国は『酒席社交』である。ところが現在、酒席がオフィスの延長となっていることが問題である。中国には、公務と私事をはっきり区別できる社交方式が必要である」と話している。

## 北方狩猟民族の知恵

### 樺皮文化芸術品

先日、内モンゴル自治区根河市オルグヤ郷で民間博物館「樺皮文化博物館」が成立しました。これが中国で唯一の樺皮（白樺の木の皮

を使った工芸文化）文化博物館である。樺皮文化芸術品は内モンゴル自治区のホロンバイル地区で暮らす北方狩猟民族であるオロチョン族やホーチョ族などの民族伝統文化であり、長い歴史を持っています。2007年、樺皮工芸が無形文化財リストに登録されました。この博物館では、出土品や伝統的な生産品などの300点にわたる作品が展示され、樺皮文化の進展コースが詳しく示され、また、北方狩猟民族の絢爛豪華な文化芸術と独創性のある知恵が現れています。



少数民族「イグ・インキ（鄂温克）族」



青少年から薬害乱用を防止 !!

NPO 特定非営利法人

# 日本麻薬犬推進協会

理事長 倉嶋 勲

# 関係団体ニュース

ボランティアアグループ

## ■あかりちんどん■



建設中の作業

当教会と友好関係にあります。「ボランティアアグループあかりちんどん」が内モンゴルで家畜小屋を建設しました。その報告です。中国・内モンゴル自治区通遼市モドト地区オラソド村では、冬季の気温がマイナス20度を超える極寒の地で、家畜のほとんどが、小屋等が無く屋外にない状態、凍死する家畜も数多くなっています。「ボランティア



家畜小屋建設完成

アグループあかりちんどん」では、ちんどん等の活動を通じて、寄付金を集め、今年8月5日より訪れ、8月8日3棟の家畜小屋を建設、完成することが出来ました。  
建物の概要収容家畜数仔羊500頭子牛100頭工事面積1068㎡受益者人口700人230軒総工費約100万円



ミニ「ゲル」の前で記念写真を撮る子供達

## モンゴルin万博 千里文化財団

財団法人 千里文化財団主催、協力 国立民族博物館で万博記念公園の芝生の上で、自然をうまく使うモンゴルの人たちの暮らしを再現したイベント「モンゴルin万博」が2009年9月22日〜23日の二日間にわたり開催されました。遊牧民のお家―モンゴルの相撲、馬頭琴演奏、フェルト作りなどさまざまな内容を取り込み、参加された市民達に草原のくらしってどんなのか知ってもらうことができました。



モンゴルゲルの解体作業を手伝う参加者達

## 中国情報

### あれこれ



中国高速鉄道CRH2型電車

■京滬高速鉄道(北京-上海)は来年末全線開通見込み。2011年のメーデー前に敷設工事完了予定。システムの調整はテスト段階

に入り、建設は順調に進んでいる。この鉄道は時速380KMに達することが可能である。(京華時報)

■7月1日から中国の富裕層の個人向け観光ビザの解禁後、一ヶ月で1138人の中国人が日本側に申請書を提出した。(中新ネット)

■2009年大陸映画俳優新規ランキングで、ネット投票と業界内の専門家からの意見で、上位5人の俳優は、葛優(グオ・ヨウ)・姜文(ジャン・エエン)・張国立(チャン・グオリ)・陳道明(チェン・ダオミン)・劉燁(リウ・イエ)である。面白いことに上位4人が皆50歳を過ぎ、唯一若い俳優劉燁は5位となっている。

■中国で3D映画館の建設ブームを迎えている。「アイス・エイジ3」は上映開始後20日足らずで、興行収入1億元を突破し、今年10作目の1億元突破映画となった。立体映画時代がまもなく中国でも到来する。

■広州市が推進する「都市・農村戸籍一元化」制度改革が重要な一歩を踏み出した。「農業戸籍」と「非農業戸籍」を取り消し、「広州住民戸籍」として統一登記することとなった。

■2008年末時点で全国の出稼ぎ農民労働者の総数は2億2500万人に上り、内出稼ぎ中の人々が1億4000万人に上った。



人気一位になった葛優

意ど  
りとし  
なをい  
情報等  
を寄下  
さい。  
皆様  
の情  
見お

今年も10月17・18日にJR吹田駅前ではアジアフェアが開催されます。当協会も関西在住の留学生・社会人のボランティアで参加します。

## 大阪内モンゴル協会

大阪内モンゴル協会では会員登録(無料)をお願いしています。詳しくはホームページ [www.fuhbic.com/mongol/](http://www.fuhbic.com/mongol/)にて紹介しています。会報の広告も承っています。



昨年のアジアフェア